

## 周波数設定ボード F I X - P C V 5 0

### 1. 概要

F I X - P C V 5 0 はプログラマブル周波数コンバーター、P C V 5 0 の周波数の設定を容易にする治具です。ボード上の BCD スイッチで基準周波数、出力周波数の設定ができるほかメモリーの書き込みが行なえます。また R S - 2 3 2 C のインターフェースを備えているのでパソコンのシリアルポートに接続して設定を行なうことも可能です。

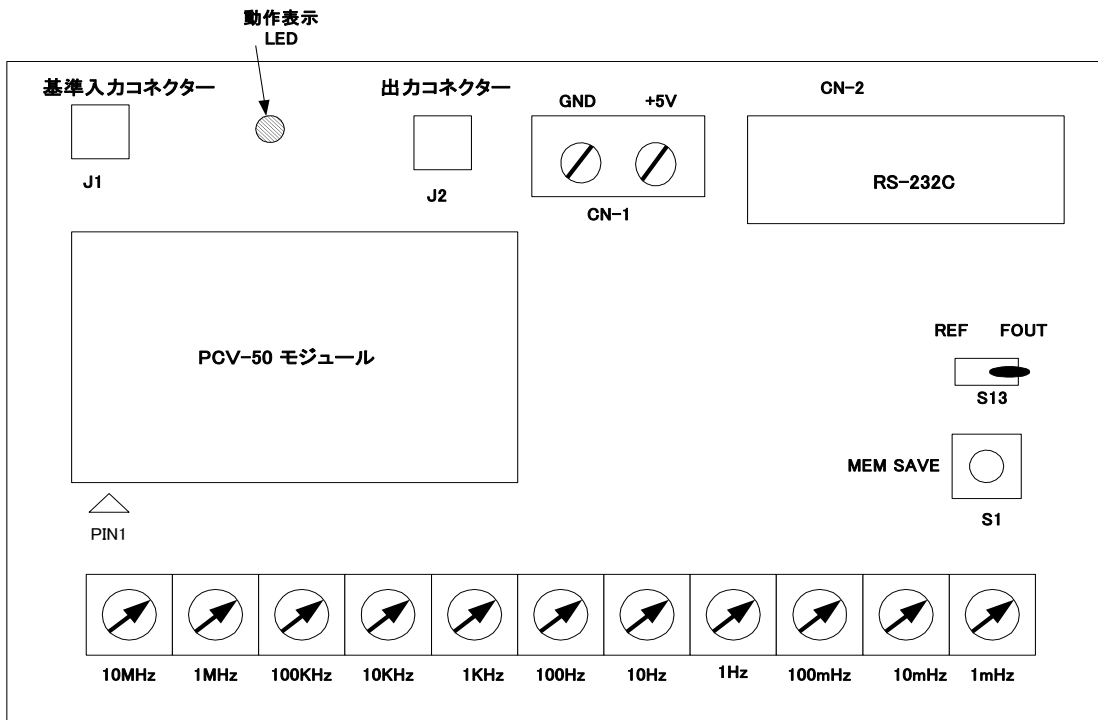
### 2. 仕様

電源電圧	5.0 v ± 5 %
消費電流	500 mA 以下 (P C V - 5 0 を実装した時の状態にて)
出力コネクタ	SMBタイプ 適合コネクタはSMB (C 0 5) 型プラグまたは ヒロセ電機UMプラグが使用できます。 <b>注意：P C V 5 0 の出力レベルはCM0S レベルですので 50Ω負荷を直接ドライブすることはできません。</b>
基準信号入力コネクタ	SMBタイプ 適合コネクタはSMB (C 0 5) 型プラグまたは ヒロセ電機UMプラグが使用できます。
D - S U B 9 ピン (メス)	P C のシリアルポートとの接続にはストレートケーブル を使用します。レベルはR S - 2 3 2 C です。 通信条件はP C V 5 0 の仕様書を参照してください。

#### R S - 2 3 2 C コネクタピン配置

ピン番号	信号名	信号方向	備考
PCV-50<-> terminal			
1	CD	→	connected to DTR internally
6	DSR	→	connected to DTR internally
2	RD	→	
7	RTS	←	not used
3	TD	←	
8	CTS	→	connected to DTR internally
4	DTR	←	“ CD, CTS, DSR “
9	RI	→	not used
5	GND	←	

### 3. ボードの配置



### 4. 使用方法

#### (1) BCD SWでの周波数の設定

PCB上にある11個のBCDスイッチで希望する基準周波数および出力周波数を設定します。基準信号周波数を設定する時はS13をREF側に選択してBCD SWを入力する基準信号周波数に合わせてください。出力周波数を設定する時はS13をFOUT側に倒して任意の出力周波数に設定します。MEM SAVEスイッチを押せばPCV50に現在の設定周波数を記憶させることができます。記憶させた周波数はPCV50を単体で使用する場合に電源投入時に出力される周波数を記憶させることができます。

#### (2) シリアルデータでの設定

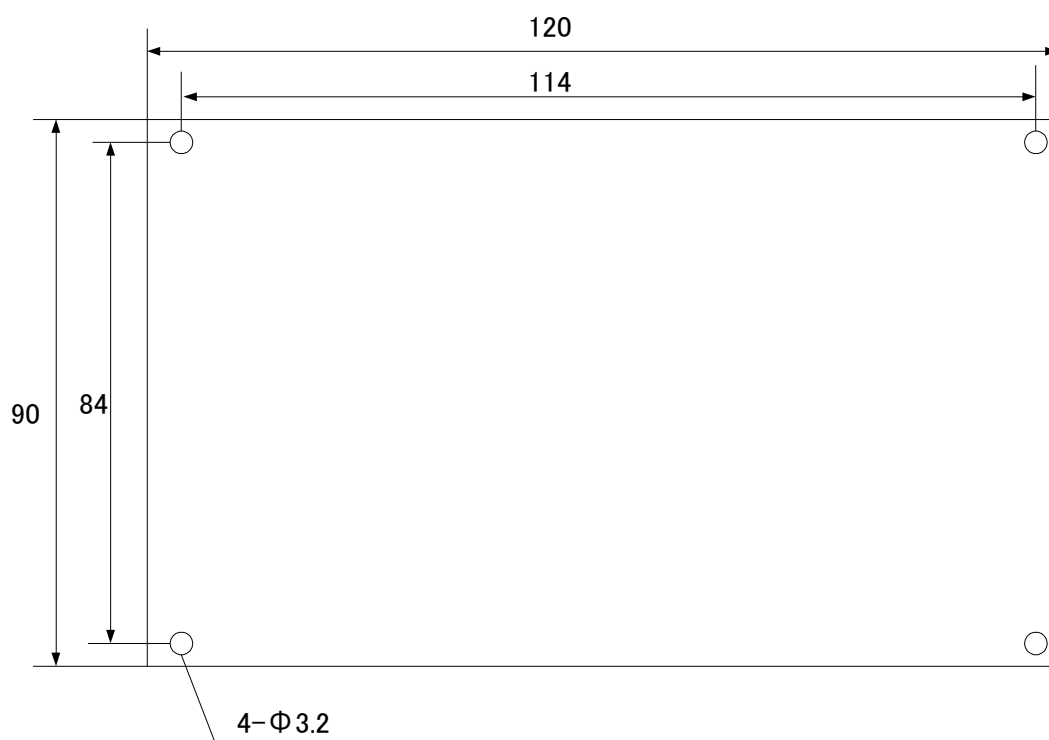
このボード内にはRS-232Cのインターフェースが内蔵されていますのでPCの通信ポートとCN2をストレートケーブルで接続してシリアルデータで設定することが可能です。シリアル通信での周波数設定方法はPCV50の仕様書を参照して下さい。

### (3) LEDの表示

LEDは正常動作の時は点灯しています。

BCDスイッチで周波数を設定した場合と MEM SAVEスイッチを押した場合は一瞬だけ点滅します。PCV50が正しくソケットに挿入されていない場合や通信が正常に行なわれない場合はLEDは連続して点滅します。

## 5. 外形寸法図



設計、製造、販売

株式会社 ディエステクノロジー

〒351-0036 埼玉県朝霞市北原 2-9-10

TEL 048-470-7030 FAX 048-470-7022

URL: <http://www.dst.co.jp/>